

平成28年度 指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
家庭	家庭基礎	2	1年	家庭基礎 パートナーシップでつくる未来 実教出版	ニュービジュアル家庭科 資料+成分表2016 実教出版

到達目標	<p>人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身につける。</p> <p>家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解し、男女が協力して家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を身につける。</p>
到達目標に向けての具体的な取組 (指導上の留意点)	<ul style="list-style-type: none"> 「生活の科学と文化」という視点から、総合的な考え方・取り組み方を身につける。 「生涯発達」の視点で、家族や生活の営みを人の一生とのかかわりの中でとらえる。男女共同参画社会・少子高齢社会・消費行動・環境問題・食に関する学習の充実等に重点を置く。 生活の中で課題を見だし、それを解決するための手段を考えるとともに、次の実践へつなげる。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月 5月 6月 7月	人の一生と家族・福祉	<p>人生を見つめる</p> <ul style="list-style-type: none"> 人生の目標、職業生活と家庭生活、生活時間やライフステージの特徴と課題について理解させ、男女が協力して家庭を築くことの意義や、家族と家庭生活の在り方について考えさせる。 乳幼児の発達と保育・福祉について理解させる。子どもを生き育てることの意義、子どもの健全な発達のために親や家族及び社会の果たす役割を認識させる。 高齢者の心身の特徴・生活・福祉について理解させ、高齢者の自立生活を支える家族や地域社会の果たす役割を認識させる。 	<p>定期考査 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物</p>
8月 9月 10月 11月 12月	家族の生活と健康	<p>生活を営む力をつける</p> <ul style="list-style-type: none"> 被服の機能と着装、被服材料、被服管理などに関する基礎的な知識と技術を習得させ、家族の衣生活を健康で快適に営むことができるようにする。 栄養、食品、調理、食品衛生などについての基礎的な知識と技術を習得させ、家族の食生活を健康で安全に営むことができるようにする 調理に関する基本的技術を習得させる。 	
1月 2月 3月	消費生活	<p>消費者として自立する</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭の経済生活、消費者の権利と責任について基礎的な知識を習得させ、消費者として責任をもって行動できるようにする。 消費行動と衣食住にかかわる現代の問題について理解させ、自分で考えて行動できるようにする。 	